



会報

WEEKLY REPORT

世界に希望を生み出そう

2023-24 R.I.会長

ゴードン.R. マッキナリー

第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ

会長/石岡 幸雄

副会長/萩原 敬一郎

幹事/南出 雅樹

[四つのテスト]1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第3105回 例会報告

2024.2.9

●例会日/金曜日 (12:30~13:30)
●例会場/ホテル日航ノースランド帯広
●事務局/帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F
TEL 0155-25-7347

- 開会宣言 高田 義久 副SAA
- 点 鐘 石岡 幸雄 会 長
- ロータリーソング (奉仕の理想)
- 会 食
- 会長挨拶 石岡 幸雄 会 長



みなさんこんにちは。

今週の月曜日から宝石の買い付けの為タイのバンコクに出張にいった先ほど帰ってきました。バンコクに行くのは5年ぶりで、その以前はグローバル補助金関

係で細川パスト、南出幹事などに行った年があります。タイは日本の約1.4倍の面積で人口は約7000万人です。羽田から5~6時間かかり、時差は2時間マイナスです。

今回は100%仕事なので観光もなく、怪しい店にも行っていません。主に宝石の原石の仕入れでダイヤモンドの研磨工場の視察も行ってきました。ダイヤモンドはとても硬いのでレーザーでカットしますが5分くらいかかります。そのあとは手作業でブリリアンカット(58面)に研磨していきます。今は円安なので昔よりは安く買えませんが物価自体はまだ日本の半分以上です。そんなに高くないので食べ物などは安く食べられます。マッサージが60分300バーツ・1200円です。

最近タイでは大麻が合法になったらしく、あちこちで売っている店がありました。私はやっていませんが。

あとタイはギャンブルが禁止という事で、雀荘はあったのですが賭ける賭けないにかかわらず禁止の様です。

■会務報告 南出 雅樹 幹事

帯広5RC・芽室RC・音更RC合同例会開催のご案内

日時 2月14日(水) 午後0時00分 会食
午後0時30分~1時30分 例会

場所 ホテル日航ノースランド帯広

帯広北RC、創立記念夜間例会開催のご案内

日時 2月16日(金) 午後6時30分

場所 ふじもり (西2条南11丁目8)

■ニコニコボックスの発表 萩原敬一郎 副会長

妻の誕生日に記念品を有難うございました。

福田 和彦

誕生日に記念品を有難うございました。

石原 智・神田 京介

寒い日が続いています。皆さん体調にお気をつけて下さい。

中島 慎也

本日、担当例会よろしくお願ひ致します。

曾我 浩昌

無事、バンコクから帰ってきました。

石岡 幸雄

■出席報告 長谷川 道正 出席委員長

現在までの出席上位者ランキング

ホームクラブ出席率

南出・矢戸会員 100%

関口・長谷川会員 95%

石岡・及川・工藤・曾我・中島・林会員 91%

石原・斎藤・萩原・福田会員 86%

秋田谷・岸本・近間・村上会員 82%

総出席率

南出幹事 145%

工藤会員 132%

斎藤会員 123%

石岡会長・中島会員 118%

関口会員 114%

最多メーキャップ

南出幹事 10回

工藤会員 9回

斎藤会員 8回

石岡・中島・松岡会員 6回

阿部直之・萩原・村上会員 5回

■プログラム 曾我 浩昌 プログラム委員長

【ワインブームと当時の社会情勢】 阿部 誠 会員

ブームというのは2通りあって『自然発生的に起きるブーム』と『人為的に起こる確信犯的ブーム』で世



の中こればかりという気がします。例えば節分の恵方巻ですが、諸説あるようですが古くは大正初期の大阪の花街で節分時期に新香巻を丸かぶりすると縁起が良いとされ面白がられたというもので、

その後1932年大阪の酢商組合が、1973年やはり大阪の海苔問屋組合が、1983年ファミリーマートが大阪と神戸で、1989年セブンイレブンが関西で展開、1995年にはついに全国展開されるようになりました。完全に確信犯的に広められたブームです。同様にバレンタインデーのチョコレートとクリスマスのケーキも同様です。

ワインブームは第1次が1964年東京オリンピック・1970年大阪万博から食文化に浸透、第2次が1978年頃の1000円ワインブーム、第3次が1981年頃の国産ワインブーム、第4次が1987年～1990年頃のバブル期ブーム、第5次が1994年頃の500円ワインブーム、第6次が1997年～98年頃の赤ワインブーム、そして第7次が2012年～現在に至る多発的ワインブームと変遷をしています。

国税庁が発表した2020年の酒類消費量によると果実酒（ワイン）の年間消費量は352,046ℓで日本人一人当たりの年間消費量は約4本となります。ちなみにフランス・イタリアは約60本となります。

東京オリンピック・大阪万博の頃のワイン消費量はほぼゼロでした。当時1ドルが360円でしたから輸入品のワインは超高級品であったため広がりにくかったのでしょうか。しかし、欧米の食文化が流入・浸透しワインが定着し始め第1次ワインブームとなっ

ていきます。第2次ワインブームでは1000円ワインが台頭します。サントリーレゼルブを代表とする大量消費型ワインです。第3次ワインブームでは安価な一升瓶の地ワインの台頭です。高度成長期の終焉に伴い大量消費から家族的団らん消費と推移していきます。しかし輸入ワインの伸びが始まる時期でもありました。

第4次ワインブームは1980年のボージョレ・ヌーヴォーの登場です。1985年のプラザ合意で円高が進み益々海外ワイン、高級ワインが入りやすくなり

ました。バブル前夜の好景気と日本人の初物好きとお祭り気分と相まって大いにヒットしました。当時、成田の保税倉庫を出るのが解禁日当日の午前0時。真っ先にボージョレ・ヌーヴォーを開けようと成田空港近くのホテルではボージョレパーティーを企画し大盛況だったそうです。この時期のようなボージョレ・ヌーヴォーブームは短命に終わります。その後あの手この手言い回しを変え販売するも売れ残りが多くなり現在は縮小ムードです。

第5次ワインブームはバブル崩壊に伴い一気に節約ムードとなりシフトダウンします。安価な500円ワインに人気が集まりました。これはサントリー、メルシャンに代表されます。第6次ワインブームは1995年に田崎真也氏が世界ソムリエコンクールで世界一という快挙をなしました。当時38歳。お米の国からソムリエ世界一位は世界を驚かせました。ニュースや報道番組、ワイドショー、書籍などに多く取り上げられ一気にワインブームとなりました。さらに赤ワインは心臓疾患を予防するという説が持ち上がり赤ワインの売り上げが大きく伸びます。これはフレンチ・パラドックスと呼ばれフランス人は赤ワインに多く含まれるポリフェノールの影響で心臓疾患での死亡率が非常に低いという統計に由来します。

最後に第7次ワインブームですがこれは14年ぶりのワインブームと呼ばれていますが、これぞというブームの要因は少ないと思われま

す。チリ産の低価格ワイン。甘く濃い味、香りが何故か人気を呼んでいるようです。さらに登美の丘ワイン(サントリー)・シャトー・メルシャン(キリン)をはじめとする日本の高級ワイン、多数存在する地方ワイナリーなどの人気が高いのもブームの原因の一つです。そしてスパークリングワインブーム、飲食店の形態であるバル、バルブームの人気などが起こっているようです。

その後の数年は出荷量、消費量も安定して右肩上がりのようで、別の説にはこの間にも違うブームがあるという事ですが何故かわかりませんので私はワインブーム第7期までとしております。というかそれが続いていると判断しています。これからも楽しいワインのある暮らしをお過ごしください。

■ 次週のプログラム予定

「帯広5RC・芽室RC・音更RC合同例会」

■ 閉会宣言 高田 義久 副SAA

■ 点鐘 石岡 幸雄 会長

例会案内

〈月曜日〉 広尾RC:日高信金広尾支店 〈水曜日〉 帯広RC:ホテル日航ノースランド 〈木曜日〉 足寄RC:足寄銀河ホール21
帯広南RC:北海道ホテル 上士幌RC:川村福祉会館 清水RC:清水町中央公民館
〈火曜日〉 芽室RC:めむるーどセミナー 音更RC:ハビオ木野 帯広西RC:北海道ホテル

■ 出席報告/長谷川道正 出席委員長

会員数	計算に用いる 会員数	ホームクラブ 出席数	メイクアップ	欠席	出席率
					58.3%